



秋田大学医学部附属病
院

緩和ケアだより

平成21年度 第1号（平成21年5月21日発行）

緩和ケアチームが

緩和ケアセンター

に生まれ変わりました！

日頃は緩和ケアチームの活動に、ご理解・ご協力いただきまして誠にありがとうございます。当チームは4月1日から院内外の緩和ケアをさらに充実させるために緩和ケアセンターが設立されました。メンバーに変更はありませんが、専任職員の配置により、患者・家族、職員の皆さんのご要望に対して迅速な対応が可能となりました。メンバー全員、今後もさらなる緩和ケアの充実のために活動して参りますので、何とぞよろしくお願い申し上げます。

以下に当センターの新たな活動目標、組織などを記載しました。ご質問などは緩和ケアセンター(6223)にお願いいたします。

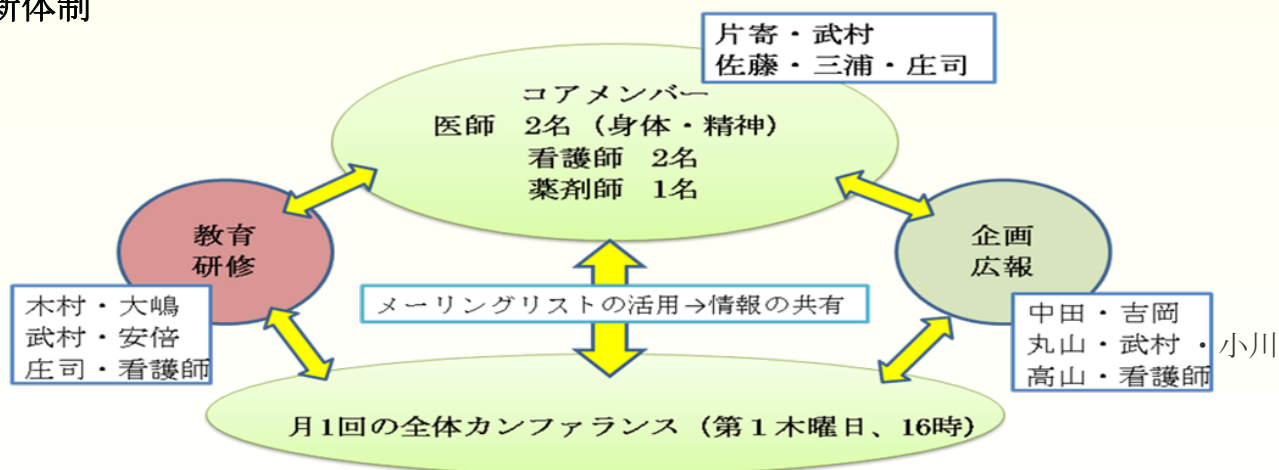
センター長 片寄 喜久

○緩和ケア活動目標：**患者・家族の全人的苦痛の軽減**

○個別目標

- コンサルテーション数の増加
- 研修会の開催：主催年4回（院外講師2回） ＋ 共催2回
- 緩和ケアに関する知識・意識の向上
- 地域ネットワークの構築：相談支援センター
- 外来における緩和ケアの質の向上：専任医師が直接相談させていただきます（PHS：070-6955-8087）ので、連絡ください。

○新体制



○医師・職員に対する緩和ケア研修会

平成21年7月25（土）、8月22日（土）に開催します。全職員が対象ですので、未参加の方は是非奮ってご参加ください。

○病棟勉強会・ラウンド

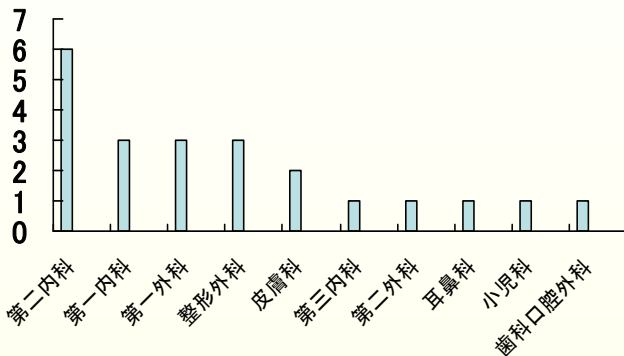
緩和ケアチームへの依頼とは別に、各病棟個別に勉強会の開催や、病棟ラウンドを行いたいと思いますので、チームへの依頼とは別に対応に困っていることなど、お気軽にご相談ください。

平成20年度 緩和ケアチーム活動報告

緩和ケアチームでは、コンサルテーション活動の他にも様々な活動を行ってまいりました。その活動内容についてご報告いたします。

1. コンサルテーション活動

(1) 依頼件数とその内訳…総件数 **22件**



(2) 依頼内容

依頼内容	件数
疼痛コントロール	15
腹水または胸水のコントロール	3
精神的支援	3
その他	2

まだまだ少ないのが現状です…

2. オピオイド回診の実施

オピオイド使用患者のいる病棟へ週に1回お伺いし、オピオイドの処方や副作用対策について相談を受けたり、症状マネジメント等について病棟の医師、看護師とともに検討します。

平成20年度の対象病棟は2階西病棟、4階西病棟でした。ご協力ありがとうございました。

★実施期間と件数	件数
2西 平成20年7月～平成21年3月	30
4西 平成20年11月～	9

3. 患者・一般市民向け研修会「がんの痛みの治療教室」の開催

「患者および一般市民に対し、がん性疼痛や麻薬に対する誤解を取り除き、正しい知識を持っていただくとともに、緩和ケアについて啓発する」を目的に、平成20年8月より月に1回開催してまいりました(平成21年3月までに計8回開催)。

平均参加数は38名で、第1・2回目には新聞やテレビ取材もあり、各メディアに取り上げていただきました。第3回目から実施しているアンケートでは毎回好評をいただいております、平成21年度も継続していく予定です。

4. その他の活動

- (1) 日本緩和医療学会でのポスター発表
- (2) 講演会、研修会の企画(院内、がん診療連携協議会との共催)
- (3) 緩和ケアポケットマニュアルの作成

これからも患者さん・ご家族・医療スタッフの
皆さまのお力になれるよう
活動の幅を広げてがんばります！！



オピオイド回診実施に関して: 泌尿器科病棟からの感想

- 悪性疾患を扱う以上疼痛管理に関する知己は必須であり、「緩和ケアマニュアル」に則り、疼痛管理に関してはしっかりと管理可能であった。
- オピオイド回診は疼痛管理に対する知識の再考や、緩和ケアに関する意見交換が出来参考になった。
- オピオイド回診時に疼痛管理で、さらに困った問題に対するより良い知見の提供、サポート体制が必要であろう。
- 症例検討の場を設け、情報の発信が欲しい。また、新たな疼痛管理などに対する知見がある場合は、速やかに周知していただきたい。
- 緩和ケアマニュアルなどは非常に参考になったので、今後はより上級編の情報を周知して欲しい。
- 緩和ケアチームの方々には当日緊急入院された患者様の投薬内容までよく調べてきており、私どもが気がつかなかった細やかなところまでご指摘頂き、本当にありがとうございました。

緩和ケアセンター予定一覧

- 患者・一般市民向けの「がんの痛みの治療教室」に加え、治療教室に参加していただいた方たちより、とりあげてほしいと要望のあったテーマについて、今年度から「**もっと知りたい緩和ケア**」と題した勉強会を開催します。第1回目は「**全人的なつらさとは**」というテーマで、5月27日(水)午後2時～3時、放射線科外来待合室にて開催予定です。病院スタッフの方もぜひ一度お立ち寄り下さい。また、患者さんやご家族の方に広く周知して頂けるようご協力お願いします。
- 今年度の院内向け第1回緩和ケア研修会を6月25日(木)に開催します。「全人的ケア:外旭川ホスピスの取組み」について、外旭川病院 院長 嘉藤 茂 先生よりご講演いただきます。詳細は決まり次第お知らせします。皆様のご参加をお待ちしております。
- 緩和ケアマニュアルを7月に改訂予定です。ぜひ参考にして下さい。
- 緩和ケアセンターHPを開設予定です。お楽しみに。

緩和ケアQ&A

Q. 痛みに関する下記の記述について正しいものはどれでしょう？

1. 神経由来の痛みは「電気が走るような」「刺し込むような」と表現される。
2. 骨由来の痛みを、患者は「鋭い痛み」と表現することが多い。
3. 内臓痛に特徴的なのがアロディニア(通常なら痛みと感じない程度の刺激で痛みを感じる状態)の存在である。



1. 〇 神経由来の痛みの表現で代表的なものは、「電気が走るような」「刺すような」「鋭い」「締め付けのような」「しびれ」などである。
2. × 骨由来の痛みは局在性に乏しく、「ずきずき」「くさくさ」という表現になりやすい。
3. × アロディニアは神経障害性疼痛に特徴的である。内臓痛に対して外から刺激を加えてアロディニアを確かめることは通常不可能である。

貸出用 DVDライブラリー リスト一覧

緩和ケアセンターでは、アストラゼネカさんより緩和ケアに関するDVDをお借りし、院内スタッフ向けに貸し出しを行っています。貸出し期間は4月～6月の第4週までです。貸し出し方法と貸出DVD一覧は次の通りです。興味のある方はぜひお気軽に緩和ケア室までお立ち寄り下さい。

貸出方法: 緩和ケア室に置いてあるDVD貸し出しチェック表に、名前、所属、連絡先(内線番号)、貸出日と返却日(返却時)を記入。2泊3日まで貸出可能です。

	タイトル	内容	作成時期
①	2007年第1回 がん-医と心を考える 公開セミナー	がん対策基本法の紹介および今後のがん医療環境の大きな流れについて。また患者全体の医療にどう患者は関わるのか。	2007/May
②	2007年第2回 がん-医と心を考える 公開セミナー	医療者/患者の立場から患者が学ぶべきコミュニケーションポイントを紹介。	2007/Oct
③	2007年第3回 がん-医と心を考える 公開セミナー	患者はどのように情報を得て、どのように情報を判断するのか。また医療者との対話の重要性を紹介。	2008/Feb
④	第12回日本緩和医療学会 総会 ランチョンセミナー	がんや悪い知らせが与える心の影響を日米で比較し、日本版コミュニケーションスキルの必要性和その技術について解説。	2007/July
⑤	2007年度 がん専門薬剤師セミナー (No.1)(No.2)	チーム医療の中で薬剤師に求められる知識や医療者間の連携について紹介。緩和ケアについても触れられている。	2007/July
⑥	2008年 AZオンコロジーTVセミナー (3月7日開催分)	がん患者と医療者のより良いコミュニケーションに関する研究結果と、その成果である「SHARE」について紹介。	2007/Mar
⑦	2008年第1回 がん-医と心を考える 公開セミナー	患者中心の医療に向けた取り組みと、患者/医療者に求めるコミュニケーションのあり方について。	2008/Aug
⑧	2008年(1回目) AZ-Oncology Pharmacist TV Seminar)	薬剤師の肺がん治療におけるチーム医療参画の必要性和その関わりについて。	2008/Aug
⑨	2008年(1回目) AZ-Oncology Pharmacist TV Seminar)	静岡がんセンター肺がんチームの取り組みを交えながら治療における症状マネジメントを紹介。	2008/Dec
⑩	2008年第2回 がん-医と心を考える 公開セミナー	緩和ケアの現状や認識などを正しく理解することから、より良いがん治療をすすめていく必要性を紹介。	2009/Jan

秋田大学医学部附属病院 緩和ケアセンター

TEL: 6223

メールアドレス: kanwa-t@hos.akita-u.ac.jp